（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピース八尾支店			
○保護者評価実施期間	2025 年 4 月 16 日	～	2025 年 5 月 31 日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	22人	（回答者数）	17人
○従業者評価実施期間	2025 年 5 月 1 日	～	2025 年 5 月 31 日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5人	（回答者数）	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 6 月 9 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	抱負な療育メニュー（リトミック、SST、コグトレ、美術、ダンス、クッキング、外出活動、英語等）を日替わりで提供しています。	日替わりメニューで色んな活動を提供していますが、全てはSSTやコグトレに繋がっており、児童の社会性やコミュニケーション能力の向上、体の不器用さの改善や学習の土台となる部分の訓練を色んな角度からアプローチできていると思います。施設内では広さが限られているので、月に1回程度のペースでレンタルスタジオを使用することで広い場所でしっかり体を動かす活動も取り入れることができています。室内で学んだSST等を外出で実行できるよう公園や図書館、ショッピングモールなどでの活動も行っています。	グループ法人や他事業所様との連携を図り、合同で運動会や餅つき大会などコロナ以降難しいとされている色んな楽しい行事が、感染症等の衛生安全の配慮義務に妨げられることなく行えたら…と考えております。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能であるため、褒めて伸ばす基本的アプローチがとても有効に働いている状態で異年齢層の関わりができていると思います。	年上の児童が適切な行動をすることで褒められる、それを見た年下の児童が同じように真似をして適切な行動を身に付けていく、といった正しい行動の模倣が沢山見られます。また、園や学校ではあまり練習できない「異年齢層と関わることで学べること」を意識しており、助けてあげることで責任感/達成感を感じてもらい、助けてもらったことで安心して過ごすことができ、感謝する気持ちを伝えることに繋がる、など、プラスの連鎖が出来ていると思います。	未就学児の文字の習得や数字の概念の理解に小学生の成功体験を絡めていけないか検討しています。成功体験し褒められている年上のお友達が、年下のお友達のモチベーションアップに繋がってもらえたら…どんな活動を企画すれば楽しく学べるのか
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コグトレの「身体の不器用さを改善する」分野で理想の結果が出せるような活動を提供しにくい。	思いっきり身体を動かせるスペースが無い。	物理的、経済的、時間的に課題がありますが、思いっきり身体を動かせる場所に関してリソースの開拓が必要だと考えます。
2	地域社会との関わりを十分に提供できていない。	地域連携等を行うノウハウを持っていない。	遠くのお出かけ先の情報も利用児にとっては魅力ですが、八尾市内の色んな情報（八尾の歴史にまつわる建築物等、お出かけスポット等、高齢者や若者/こどもと関われるイベント等）にも目を向けて、地域と関われる活動を考えていくべきだと思います。
3			